

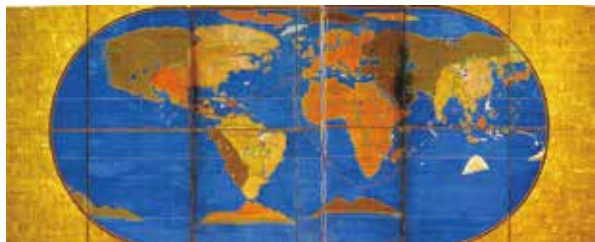
Next Exhibition 次回特別展予告

西日本新聞 創刊140周年記念

新・桃山展

—大航海時代の日本美術—

2017年 10月14日(土)～11月26日(日)
(平成29年)



世界図屏風(重要文化財「日本図・世界図屏風」のうち)
安土桃山時代 16世紀 福井・浄得寺蔵

鉄砲伝来(1543年頃)から鎖国完成(1639年)までの約1世紀に、日本がアジアやヨーロッパと繰り広げた交流の歴史を、華やかな美術品とともに紹介します。天下人たちが愛した安土桃山時代の巨匠の傑作も登場。お見逃しなく。

Access

車	九州自動車道「太宰府」ICまたは「筑紫野」ICから高雄交差点経由で約20分
JR	博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約5分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
西鉄バス	博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分
西鉄電車	西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約13分/急行約17分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急/急行料金不要

駐車場の空き情報

九州国立博物館周辺の駐車場の空き情報がウェブでチェックできます。情報は定期的に更新していますので、来館当日の状況をご確認ください。右記QRコードで携帯からもチェック可能です。



【表紙】
(実物の壁面) 背中合わせのバイン、(実物の壁面) 大きな黒い「ヒウシ」とウマの列、
(復元) 井戸の場面 © Photographie N.Aujoulat-CNP-MCC
(動物復元図) オオツノジカ、(動物復元図) バイン、(動物復元図) オールックス(原中)、
(動物復元図) ケサイ、 © 2016 Akio Itou / Yasuko Okamoto
角を持つウィーナス(ローセルのウィーナス) レプリカ ※写真は原品
アキデーン博物館所蔵 © Musée d'Aquitaine-Lysiane Gauthier, Mairie de Bordeaux



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 (太宰府天満宮横)

ご案内 NTTハローダイヤル (8:00～22:00/年中無休)

050-5542-8600 ※オペレーターが対応します。

http://www.kyuhaku.jp ぎゅーはく 検索

Information

開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)、毎週金・土曜日は～20:00(入館は19:30まで)
休館日	月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)、 ただし8月14日(月)、9月19日(火)は開館、9月12日(火)は休館
文化交流展観覧料	一般/430円(220円) 大学生/130円(70円) ※特別展は別料金
お知らせ	9月18日(月・祝)は「敬老の日」で文化交流展が無料となります。
特別展観覧料	特別展:世界遺産「ラスコー展」クロマニヨン人が見た世界 一般/1,600円(1,400円) 高大生/1,000円(800円)* 小中生/600円(400円)* ※学生証等の提示をお願いします。

※特別展:世界遺産「ラスコー展」クロマニヨン人が見た世界の開催期間は平成29年7月11日(火)～9月3日(日)です。
※()内は有料の方が20名以上の団体料金および当日17:00以降販売の夜間割引料金。※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。※高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、文化交流展は無料。文化交流展示室入口にて生年月日が分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展(平常展)もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご購入いただけます。券売所にて生年月日が分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。※キャンパスメンバーズの方は文化交流展は無料。特別展については()内料金でご購入いただけます。券売所にて学生証、教職員証等をご提示ください。

広告

太宰府

かしの家

●お餅・お食事処 <http://www.kasanoya.com/>
TEL 092-922-1010 FAX 092-922-5324

●茶室・ギャラリー
TEL 092-922-7110

●てのこい家 (てぬぐい専門店)
TEL 092-922-1035

●きんぐ (梅ヶ枝餅・丼物・茶房)
TEL 092-922-5582

〒818-0117 太宰府市幸府2-7-24 (太宰府天満宮参道)
0120-818-151

九州国立博物館

季刊情報誌 アジアージュ

Asiage

vol. 45

特別展:世界遺産 ラスコー展

クロマニヨン人が見た世界

2017年 7月11日(火)≫9月3日(日)



特別展：世界遺産 ラスコー展

クロマニヨン人が見た世界

2017年7月11日(火) ≫ 9月3日(日)

今にも動き出しそうなウマ、シカ、バイソンの絵。約2万年前、フランス南西部の洞窟でクロマニヨン人によって描かれた壁画の世界を、この夏、九州国立博物館で体感できます。そこで展示会の公式キャラクターである「トリ人間」が展示会の見どころを案内。いまだ謎に包まれたラスコー洞窟の魅力について紹介します。

(復元) 褐色のバイソン

体に7本の線が引かれたバイソン。動物の輪郭を刻んだ後に色が塗られ、その後、再び細部に手が入られています。

暗闇に動物が
浮かび上がるよ！

発見

1940年、フランス南西部の丘で犬を追いかけていた4人の少年が、洞窟壁画を発見しました。描いたのは2万年前の氷河期に生きたクロマニヨン人。美しく写実的な動物の壁画は世界的に評判となり、洞窟は観光地となって、世界中から多くの人がやって来ました。



危機

ラスコー洞窟壁画の評判の高まりとは対照的に、多くの人の出入りで洞窟壁画は汚染されました。このため1963年に洞窟は閉鎖され、研究者でも内部に入れなくなりました。



現在は閉鎖されているラスコー洞窟入口
© Maurice Bunio with permission from the Ministère de la Culture et de la Communication (MCC)

再現

封印された洞窟の内部を再び紹介するために、3次元計測機器などの先端テクノロジーを駆使して精巧な洞窟壁画の模型が作られました。実物の迫力を見事に再現した模型は、世界を巡回り、再び多くの人を魅了し続けています。



※画像はイメージです。
ラスコー洞窟の一部を再現した展示室
© The Field Museum, Chicago, 2013

見どころ
1

壁画が
ライトアップ



(復元) 線刻がライトアップされた黒い牝ウシとウマの列
© SPL Lascaux International Exhibition

「線刻」と「彩色」の二つの技法で描かれた動物壁画。本展では、照明によって見せ方が周期的に変わるので、受ける印象も変わっていきます。

見どころ
2

九州会場オリジナル展示

本展は東京、東北会場に続く開催ですが、九州会場のみで見られる展示もあります。それはフランス・ボルドー市のアキテーヌ博物館が所蔵する旧石器時代コレクションと、マンモスの牙に触れるコーナーです。



© Musée d'Aquitaine-Florian David, Mairie de Bordeaux

笛 アキテーヌ博物館

見どころ
3



撮影コーナーあり！



⑤ 角を持つヴィーナス (ローセルのヴィーナス) レプリカ

⑥ 狩人 レプリカ
アキテーヌ博物館
※写真は原品
© Musée d'Aquitaine-Lysiane Gauthier, Mairie de Bordeaux

触れる
展示も！



マンモスの牙 いのちのたび博物館

夏休みの思い出に、
せりタッチ！



イベント情報

記念講演会

「クロマニヨン人は
どこから来たのか？」

7月11日(火)
13:30~15:00

本展を監修した国立科学博物館の研究者、海部陽介氏によるスペシャルな講演会。定員先着280人(申し込み不要)。入場無料。

※イベントの詳細情報はホームページでご確認ください。

ナイトミュージアム

「クロマニヨン人現る!!」

7月15日(土)、8月4日(金)
17:00~20:00の間に数回登場

夜の博物館に、2万年の時を超え、クロマニヨン人がタイムスリップ?! 特別展の会場に現れます。

(復元) 背中合わせのバイソン

背中合わせに描かれたバイソンの体は、顔料を岩壁に吹き付けて彩色されています。左の1頭は春に毛が生え変わったさまを表現しています。



© Photographie N.Aujoulat-CNP-MCC



川村主任研究員



(復元模型) クロマニヨン人

現代によみがえったクロマニヨン人の家族。ハンターの父親の横で娘が遠くを指差し、母親は子どもにボディペインティングを施しています。

© Elisabeth Daynés



新しい企画で来場者をおもてなし 夏から秋は三つの特別展示が登場！

第9室

水中に眠る遺物が語るものとは？

7/15 土
9/10 日

水の中からよみがえる歴史 —水中考古学最前線—

水中考古学という学問をご存じでしょうか。陸上と同じように、海や湖の底から遺跡が発見されることがあります。旧石器時代や縄文時代に水没した遺跡、膨大な量の中世の貿易陶磁器などが海底に広がる遺跡、激動の明治維新を駆け抜ける過程で沈没してしまった船など…。本特別展示では、「水の中から発見されたもの」の展示だけでなく、水中調査技術の発展や最新の調査事例も紹介します。水の中から発見された「歴史の宝」を、見に来ませんか。

水中考古ってなんだろう？

日本の水中遺跡といえば長崎県松浦市の鷹島神崎遺跡が有名です。蒙古襲来(1281年・弘安の役)の際に暴風雨で沈んだ元軍船の発見のニュースは、国内だけでなく世界に向けても発信されました。水中考古学者の仕事は多岐にわたり、写真のように水中でさまざまな作業をすることもあります。昔の海難記録を調べたり、ソナー(音波探査機)や水中ロボットなどを使って船の上から水中の様子を調べたりすること。また、引き揚げられた遺物の保存処理も水中考古学には不可欠な要素です。このように、水中考古学は奥が深い学問なのです。



金属探知機を使って海底面を調査している様子
画像提供: 沖縄県多良間村教育委員会



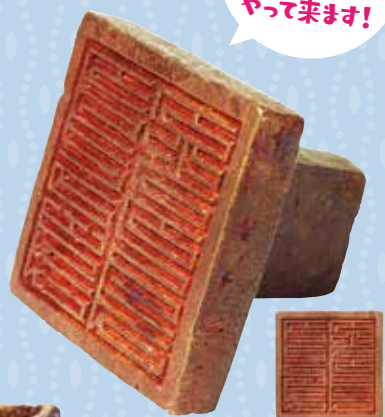
実物大で復元された開陽丸は、開陽丸記念館(北海道江差町)として利用されています

蒙古襲来を直接示す貴重な資料

かんぐん そうはいん
管軍総把印

鎌倉時代 13世紀
松浦市教育委員会

蒙古襲来終焉の地として知られる長崎県松浦市の鷹島沖で発見された青銅印。印面には元朝の国字に当たるパスパ文字で「管軍総把印」と刻まれています。元軍の将校が弘安の役の際に使用したのでしょうか。



736年の
時を隔てて
太宰府に
やって来ます！

湖底から発見された縄文土器

深鉢

縄文時代 5000～4000年前
つづら おさき
葛籠尾崎湖底遺跡資料館

大正時代、琵琶湖の北端に近い葛籠尾崎の沖で、底引き網にかかって引き揚げられた縄文土器。これまで、縄文時代から平安時代まで、長期にわたる遺物が発見されています。



幕末の軍艦から発掘された遺物

激動の幕末期、北海道・江差沖に沈んだ「開陽丸」。徳川幕府の軍艦として海上を雄飛した船からは、約3万3000点の遺物が発見されました。坂本竜馬が所有していたものと同型といわれるピストルなどを展示します。



しじょうりゅうだん
施条榴弾(左)と
かっくうりゅうだん
滑空榴弾(右)
江戸時代 19世紀
江差町教育委員会



拳銃

江戸時代 19世紀
江差町教育委員会

九博の文化交流展示室は、常に新しい企画で来場者をおもてなしする「変化する平常展」。夏から秋にかけては、三つの特別展示が登場します！

第11室

「海の道」に浮かぶ国際交流の都へ

対馬 —遺宝にみる交流の足跡—

8/8 火
9/18 月・祝

九州と朝鮮半島の間に位置する対馬は、古くから東アジアの人々や文物が行き交い、互いの文化が混在する特色ある歴史を歩んできました。そのことは、対馬に所在する、あるいはかつて所在した、さまざまな文化財からうかがうことができます。本展では、対馬における交流が育んできた日本でも稀有な歴史と文化について、対馬ゆかりの文化財から紹介します。

まばたきをしていたお面

鉢巻をする面

南北朝時代 暦応元年(1338)頃
海神社

日本の南北朝時代につくられたお面です。極太の眉と彫りの深い大きな目などの表現には、力強さとユーモアが感じられます。眉と目の間には隙間があり、別製のまぶたでまばたきする構造になっています。



なでなでしたくなる獅子の重し

獅子形鎮子

南宋時代 12～13世紀
黒瀬地区公民館

中国の南宋時代につくられ、対馬の大吉戸神社に伝わった鎮子です。頭をひねり、左の後ろ足で耳をかく姿はとて愛らしく、頭をなでなでしたくなるほど。丁寧に刻まれた毛並みにも注目です。



独特の表現はインド発祥

銅造如来立像

統一新羅時代 8世紀
海神社

朝鮮半島の統一新羅時代につくられ、その後対馬の海神社に伝来しました。高く盛り上がった頭部や、衣が密着して体の輪郭があらわになった表現は、もとはインドで始まり、中国・唐を経て朝鮮半島で流行したものです。

藍色の海に浮かぶ対馬の姿

元禄対馬国絵図

江戸時代 元禄13年(1700)
長崎県立対馬歴史民俗資料館

江戸幕府の命によって対馬藩が作成した国絵図です。とても大きな絵図で、縦3.7m×横1.7mもあります。藍色の海を背景に、対馬全島をくっきりと丁寧に描いた美しい絵図です。



大分で育まれた独特な仏教文化を紹介

神と仏と鬼の郷 - 国東宇佐 六郷満山展

大分県の国東半島や宇佐地域では、宇佐神宮を発祥とする八幡信仰と半島全域(六郷満山)で発展した山岳信仰が古くから結び付き、神仏習合による独特な仏教文化が形成されました。2018年に六郷満山開山1300年を迎えることを記念し、この地域で守り伝えられた祈りの文化財約40件をご紹介します。

3テーマエリアおよび
第5・6・7室

9/13 水
11/5 日

重要文化財
僧形八幡神坐像
平安時代 10～11世紀
大分・八幡奈多宮



きゅーはく PLUS

ナイト★ミュージアム、デビュー☆
午後8時まで開館、仕事帰りに観覧を♪

九博の一味違った魅力を探る「きゅーはくPLUS」。
今回は4月にスタートした「夜間開館」を紹介します。
毎週金・土曜日は開館時間が午後8時まで延長(入館は同7時半まで)になり、レストランやオープンカフェ、ミュージアムショップなども午後8時まで営業。さらに夜だけのお楽しみイベントも続々登場しています。仕事帰りに、夜の観光に、いつもとは違う時間を博物館で過ごしませんか。

★ ★ ★ ★ ★ 夜を楽しむイベントもいろいろ ★ ★ ★ ★ ★

第4回みゅーじあむ寄席
8月12日(土) 午後3～5時



桂木園治

展示にちなんだ落語とトークが楽しめる「みゅーじあむ寄席」。4回目のテーマは「地獄」。真夏の屋下がり、落語「地獄八景亡者戯」と展示「十王図」(下記参照)を目当てに涼みに来ませんか。

プレミアムフライデーライブ
毎月最終金曜日 夜間開館時



毎月最終金曜日の夜に開かれるプレミアムフライデーライブ。毎回多彩なアーティストをお迎えし、癒やしのひとときをご提供します。

夜の博物館たんけん隊
毎月第1土曜 夜間開館時



毎月第1土曜日の夜間開館の時に特別に行われるバックヤードツアー。普段はスタッフしか入ることのできない展示室の裏側を歩いたり、文化財専用の大型エレベーターの乗降体験ができたりします。博物館の「展示する」「運ぶ」「守る」仕事の一端をご紹介します。

※イベントの詳細情報はホームページでご確認ください。

九博スタッフ's Favorite

九博スタッフが展示の魅力や九博の楽しみ方について話します。

死後の裁きの様子を描いた「十王図」

人は亡くなると、10人の冥界の王のもとに導かれ、生前の行いについて10回の裁きを受けます。その様子を描いたのが「みゅーじあむ寄席」でもクローズアップする「十王図」です。
右の絵は、閻魔王による裁きの様子を描いています。真ん中に座る、立派なひげをたくわえ、いかめしい顔をしたのが閻魔王です。机の上には紙や硯が置かれていて、死者の名前や罪などを記録しているのでしょう。下の方には、地獄の鬼に首をつかまれた男性が大きな鏡の前にひざまずいています。その鏡には生前に犯した行いが映し出され、どんな悪事も白日のもとにさらされてしまうのです。このような10回の厳しい裁きを経て、ようやく3年目に死者の行き先が決定します。待つのは地獄か極楽か。鬼気迫る描写にご注目ください。



▲ 十王図(10幅のうち)
福岡・善導寺蔵 南宋時代(13世紀)
展示場所 4階 文化交流展示室 第6室
展示期間 8月8日(火)～9月3日(日)



主任研究員
森實 久美子
Kumiko Morizane

先日初めて訪れた福岡市動物園。初夏の日差しにぐったりと地面にはいつくばっていたウサギに、親心と(なぜか)仲間意識を感じてしまいました。

週末の夜はあじっばでのんびりと“九博デート”♡

子どもだけでなく、大人も満喫できる体験型展示室「あじっば」。いろいろな国の楽器やゲームで盛り上がったり、SNS(会員制交流サイト)にアップしたくなるような衣装で写真を撮ったり。楽しさの中に「知」も潜むデートを紹介します。



SNSにアップしよ～

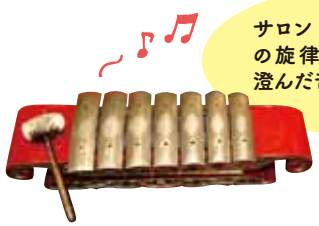
南蛮人になりきってパシヤ

マントを着て「唐船・南蛮船図屏風」(複製)の前で写真が撮れる。九博の撮影スポット。



中央をたたいて音を鳴らしてみて～

インドネシアの伝統的な音楽「ガムラン」で使われる楽器。ゴングは、メロディーの節目に鳴らす。



サロン・バロンはガムランの旋律を奏でる楽器で、澄んだ音色が特徴。



見た目にかわいい、「紐結び」

工作やパズルなどを通じて、世界の文化が学べる「BOX キット」。



すごろくのような「ユンノリ」は、韓国の伝統的ゲーム。駒を進めて、先にゴールした方が勝ち。



博物館を支えてくれる新しい仲間が加わりました



きゅーはくをサポートしてくれる「九博ボランティア」。この春より155人のボランティアが加わりました!

深堀慶子さん、小川操さん、筒井純子さんは「あじっばで子どもたちと触れ合い、一緒に学びたい」とやる気満々です。

7/29(土)、7/30(日)開催

『いこうよ! あじっば夏祭り2017』※詳しくはホームページでご確認ください。

きゅーはくで見つけた「いいね!」

九博に隣接する「レストラングリーンハウス」や、館内1階と参道にある「ミュージアムショップ」で見つけた、「いいね!」アイテムをご紹介します。

ラスコー展のお土産にマンモスのぬいぐるみ。左からM2700円、S972円、キーホルダー518円。



#かわいさマンモス級♪
#キーホルダーは手のひらサイズ

フランスの冷製スープをアレンジ
ビシソワーズ風 ポテトと豆乳の冷製スパゲティ。1800円。



#白の秘密は「玄米卵」
#ライスはシーフードビラフ
#アサリのエキスタっぷりのソース

レストラングリーンハウス
092-918-7822

Restaurant Goods



#ラスコー展の期間中限定
#バゲットをソースに浸しても美味
#お得なセットメニューも♪

世にも珍しい「白」のオムライス
Omelet Rice Blanc～白いオムライス～。スープ付き。2000円。



#イエロー×ブルーが南仏風
#枕元に置こうかな

南仏をイメージしたサシェ
フランス製の香り袋。ラベンダーの香りで、生地違いで5種あり。各648円。

ミュージアムショップ 092-918-8818
ミュージアムショップ参道 092-408-1300

九博の最新情報

最新情報をチェックして九博へ。職員がアップする耳寄り情報も盛りだくさん♪

Twitter
展示・イベントの旬な情報やミュージアムグッズなどを紹介。
@kyuhaku_kohoで検索

公式ホームページ
特別展予告や展示・イベントカレンダーなど、来館の計画をサポート。
九州国立博物館で検索

メールマガジン
展示やイベントの情報に加え、お便りメールも掲載する「参加型メルマガ」。

メルマガ登録方法
①公式ホームページを開く
②トップページ下の「九博メルマガ 会員登録はこちら」をクリック
③Eメールアドレス他、必要事項を入力してクリック
④確認画面で確認して登録ボタンをクリック
⑤登録完了